茶家醉古襍 一

初集目録

湖月老翁輯

茶家酔古襍

全部五帙

今の世茶事を好める人多し
されど無き数寄をすなる[illegible]
古器を失ふ事多し
これみな[illegible]ひの人あまた[illegible]て
好者の道を入りして
茶器の先達の字あまりに
ふる[illegible]道具の名物をあらはすの
もとよりそうそ数にいふなり
古来の茶器の名はちなき[illegible]
むなしく[illegible]の物は[illegible]あまる古
[illegible]無く小さくなり
此書は[illegible]あまりの様をしるし出
す[illegible]家[illegible]を考へてはいと

つきつくしきわざなれはこゝに
そのあらましをそのつゞり
されとも家〻に伝ふ多きの
思ひあらしくて後〻のため
ふつゝかなる手に此外のとを
よする人もありぬべきかな
よろこんよろこびをもとめ給へ
またおなじひとつのこともさらに
あらたまさ ほとりのかるわ
ならそもつくるなん

溪月菴 自ら誌む

茶家酔古襍

惣目次

○第壱帙

目録

目録終

茶家酔古集

茶人系譜

珠光 香楽庵休心法師小名茂吉ト云南都杢市検校ノ男幼少ノ時南都称名寺ノ僧トナル十年余住職シテ年三十ノ頃紫野大徳寺ニ至リ一休和尚ニ参学シテ自己ノ心要ヲ究明シ数奇ノ妙術ニ至ル其頃源義政公光ノ数奇ノ妙術心要ヲ賞美有テ選係サセ三條ノ辺ニ州庵ヲ構サセ珠光庵主ト書シ賜リ額ヲ打タセラル皇朝茶道宗匠ト称スル者光ヨリ始ム寿八十二満テ卒ス大徳寺中真珠庵ニ葬ル文明中ノ人

真能 能阿弥ト称シ鴎斎ト号ス又春鴎斎足利家ニ仕同朋為リ茶礼ヲ能シ書画ヲ善ス能古器ヲ識鑑ス普廣院義教将軍之時也又茶杓ヲ造テ名アリ是宗

師茶技ヲ造ルノ始

眞能　眞能男藝阿弥ト称シ学叟ト号ス足利家ニ仕同朋タリ茶事及書画ノヨクス家声ヲ墜サス

眞相　眞藝ノ男相阿弥ト称シ松雪斎鑑岳ト号ス左大臣義政公ニ仕ヘ父祖相続テ同朋タリ茶礼ヲ嗜ニ書画ヲ能シ詩ヲ賦シ和哥ヲ詠ス又香道ニ達シ公ノ左右ニ倍従人

窪田大炊允　―　岩宗菴

高嶋道齋　捜圓覚

空海　俗名八布近其姓ヲ詳ニセス茶法ヲ真能ヲ受テ其ノ法ヲ荒木道陳ニ傳フ

北向道陳　本姓荒木泉叓舳松ノ人北面ノ家ニ居ル故北向ヲ以テ氏トス茶道ヲ嗜ム其

法ヲ空海ニ受テ宗易ニ傳フ鴎没後道陳ヲ以テ宗匠トス曾テ普通国師ニ参シテ南宗寺ノ外護トナル盖宗易薙髪以前ノ師ナリ永禄五壬戌正月十八日没ス年五十九

利休　始茶法ヲ道陳ニ受後紹鴎ニ就テ其蘊ヲ窮ム傳珠光ノ系ノ下ニ詳ニス

義政公　慈照院殿源義政公ハ足利尊氏八代ノ孫天山同仁斎ト号ス従一位左大臣准三后征夷大将軍公年四十五職ヲ常徳院義尚公ニ譲ル文明十五年勅命ヲ賜テ東山殿ト祢ス銀閣ヲ東山ニ建テ天下ノ名器ヲ集ム数寄屋會ト号シテ以テ諸侯ヲ招キ臺子ノ茶礼ヲ行フ延徳二年正月七日薨寿五十

宗珠　珠光ノ男ナリ南都ニ住シ印税斎ト号

ス又京六条ニ住ス

引拙　一印雪ニ作ル南都ニ住ス珠光ノ二男光没後茶家宗匠ト祢ス年七十

藤田宗理　下京ノ人珠光ノ嗣引拙没後宗匠ト祢ス

竹倉屋紹滴　泉州沙界ニ住ス引拙宗理ト名ヲ斉クス

松本珠報　永昌坊止楽ト号ス洛陽四条東洞院ニ住ス今テナホ松本ノ井アリ山名氏ノ臣

志野道耳　一條道耳ニ作　左海ニ住ス香道ニ達シ又珠光ニ従ニ点茶ノ法ヲ受ク

志野宗信　京師ニ住ス俗称三郎右衛門香道ニ達シ茶事ヲ能ス蓋道耳ノ嗣志野流香道祖

志野宗温　宗信ノ男　俗称弥三郎祐憲参河守ト号ス香道ニ達シ茶事ヲ能ス

善海和尚　一栗囲口善法ト云泉州古海東石津上市村ニ住ス常ニ手取鍋ヲ以テ粥ヲ烹又茶湯ノ釜ニ用フ以テ松涛ノ彷彿ヲ聞テ独茶ヲ喫

[illegible]

古市澄胤　従五位下播磨守南都興福寺衆徒寺ノ代官ト成

園乗坊

南都　古市宗園　細川家仕

古市宗屋

土門源次郎　南都ニ住ス

土門源之丞　同前

石黒道提　洛陽千本ノ街ニ住ス子孫東都住

西福院　南都興福寺中

尊行院　同前

宗悟　洛陽六条ニ住ス松本氏十四屋休斎ト称ス同明宗陳並ニ條道耳ニ従テ真ノ臺子ノ法ヲ受クト云

宗陳　洛陽ニ住ス宗悟ト同門十四屋ト称ス

天富善好　洛陽ニ住ス　又左衛

誉田屋宗宅　左衛ニ住シ徳斎ト号ス誉田屋徳齋ハ蓋シ宅カ後ミ隣葵壹ヲ以ス東照宮ニ仕

肖柏　左衛ニ住ス牡丹花ト号ス又弄花軒夢庵ト称ス中院内府通秀公ノ庶子也茶事ヲ嗜ミ連哥ヲ好ミ香枝ヲ翫フ志野宗心ニ交會ス

珠徳　洛陽ニ住ス玉工ナリ曽テ象牙ノ茶杓ヲ造ル信長公之ヲ蔵ス

津田宗伯　左衛ニ住ス　天王寺屋

与五郎　南都ニ住ス

道六　同上

塩瀬林　同上塩瀬元祖

羽淵宗印　秀廣　珠光茶杓削

瓢觀斎　大津ノ人

宗清和尚　以天ト号ス紫野大徳寺住職

武埜紹鷗　初名仲我新五郎ト号ス後仲村ト改従五位下因幡守ニ任ス幼トキハ左衛ニ住シ少ニシテ京師ニ上リ悟陳両居士ニ就テ茶術ヲ受ケ宅ヲ室町四条ノ北ニ構フ隣ニ蛭子ノ小祠アリ故ニ家ニ扁シテ大黒庵トイフ既ニ茶礼大ニ起ル其術ヲ千宗易ニ傳フ後左衛ニ歿ル珠光ノ後茶家ノ宗匠トナル

弘治元年乙卯十一月廿九日没ス寿五十二法号大黒菴一閑居士葬地左海南宗寺ナリ

源義輝公 足利十三代後二位内大臣征夷大将軍永禄八年五月十九日薨ス法名光源院殿ト号ス

武野宗瓦 紹鴎男方寸斎ト号ス早世

宗朝 宗瓦ノ長子安斎ト号ス

滝新右衛門 鴎ノ外孫瓦ノ婿也尾州屋住

津田宗達 左界ニ住ス天王寺屋大通ト号ス世冨商ト称ス

宗及 宗達ノ男尚更斎天信ト号ス大徳寺江月和尚ノ父也利休ト名ヲ斉ブス関白豊臣公ニ仕ノ天正二十年八月九日逝ス

紙屋宗且 筑前博多ノ人

宗栖

細川幽斎 正四位下兵部大輔藤孝祝髪シテ幽斎玄旨ニ位法印ト号ス慶長十五年八月廿日逝年七十七

長谷川宗仁 刑部卿法印ト号ス信長秀吉ニ仕フ

三好康長 従五位下山城守剃髪シテ笑岩ト号ス

今井宗久 和泉今井ノ人左海ニ住ス鴎之婿ナリ豊臣太閤ニ仕フ

今井宗薫 宗久ノ男

薬師院 左京ノ人

僧幸順 洛陽頂妙寺中常住院

辻　玄哉　同上

椋　宗理　同上

山本助五郎　同上

石橋良叱　同上

本法寺日通　功徳院　十七世　京川端氏天正慶長年同ノ人

餅屋道喜

油屋紹佐　沙東ノ人

油屋常祐　同上

太子屋宗高　同上

小西道純　同上

小嶋道察　同上

鹽屋宗悦　同上

茜屋宗佐　同上

烟干屋道琳　同上

松江隆仙　同上

銭屋宗納　同上

石津屋宗嬰　同上

草部屋宗悦　同上

伊勢屋宗滴　同上

淡路屋宗和　同上

軽粉屋宗陽　同上

萬屋吉松　同上

油屋宗味　同上

太子屋宗有　同上

三二　左貞

三好宗三　希雲ノ子

松下宗内

千利休

初メ納屋與四郎ト称シ左衷今市坊ノ人也 姓ハ田中氏 其先ハ室町家ニ仕 同朋為リ名ヲ千阿弥トイフ 因テ後千氏ニ改ム 抛筌斎利休居士ト号ス 嘗テ普通国師ニ剃髪為弟子トナル 法諱ヲ受ク 茶道ノ道薬紹鴎ニ居士一温子テ其道ヲ大成ス 善シ茶道ヲシテ四アラシム 一ニ日躰和シ二ニ日ヨク敬シ三ニ日ヨク清ク四ニ日ヨク寂 茶祖珠光ノ故事ニ因テ立ル所云 遂ニ茶道ノ以テ右府信長公ニ仕ヘ後大閤秀吉公ニ仕フ 三千石ヲ賜ヒ命ヲ受テ茶法ヲ改定ス 天正十九年辛卯二月廿八日没 年七十四 紫野聚光院ニ葬ル

千道安

初名ハ紹安 後道安ニ改ム 或ハ宗安ニ作ル 眠翁ト号ス 天正十五年七月朔日没ス 大徳寺中聚光院ニ葬ル 按スルニ道安利休ニ先テ死ス 嫡男ナリ

金森長重

金森宗和

諱ハ重 京師ニ蟄居ス 剃髪シテ宗和法印ト号ス 明暦二年四月卒ス

釋策傳

京都誓願寺中竹林院ニ住ス 寛永十九年正月八日寂ス 寿八十九

古筆了祐

了栄ノ男 初メ八兵衛ト称ス 貞享八年四月廿日没 年四十

小河左馬助祐滋

土佐守ノ長子 兼々庵ト号ス 伊与今治城主七万石ヲ領ス

桑山重長

従五位下左近大夫 洞雲ト号ス 祝髪シテ宗仙ト名ク 寛永九壬申七月卒ス 寿

片桐貞昌 従五位下石見守宗関ト号ス弟子多シ系別ニ下ニ出ル

天方通直

小川主馬

藤堂将監

千宗淳 少庵ト号ス宗易ノ聟ニ子兄道安病有ヲ以テ宗淳家ヲ続慶長十九年甲寅九月七日没ス紫野聚光院ニ葬ル

千宗旦 元伯ト号シ又元叔ト号シ今日庵咄斎ト称ス宗淳ノ男万治元年戊戌十二月十九日没ス寿八十一紫野聚光院ニ葬ル

山科宗甫 宗旦カ弟子山科ニ住ス又花畠ト号ス

千宗拙 宗旦ノ嫡男早世承応二年五月六日没ス

千宗佐 江岑ト号シ甚兵衛ト称ス又逢源斎宗旦第三子妾腹紀州ニ仕寛文十二年壬子十月廿七日没ス大徳寺聚光院ニ葬ル

千宗佐 初宗巴良休斎ト号シ瑞流ト称ス一随流ニ作ル江岑ノ男不審庵ト号ス紀州ニ仕元禄十四年辛巳年七月十九日没ス

霊海和尚

菅沼主膳正

千宗巴 支流斎ト号ス良休男早世

十代目
千宗佐 原叟ト号ス覚々斎流芳ト称ス

良休ノ義子享保十五年庚子六月廿五日没ス

四代
千宗左 天然ト号ス如心斎ト祢ス又丁々軒
原叟ノ男也紀州ニ仕寛延四年八月十三日没ス

五代
千宗左 叶翁ト号ス啐啄斎ト祢ス天然ノ男
文化中没ス

千宗左 了々斎ト祢ス叶翁ノ義子文政八年八月七日没ス年五十一

千宗左 吸江斎ト祢ス了々斎ノ義子実母ハ啐啄斎之女

千宗室 仙叟ト号ス今日庵ト祢ス宗旦ノ三子妾腹加州ニ仕元禄丁丑正月廿三日没ス

二代
千宗室 常叟ト号シ不休斎ト祢ス初名ハ宗安仙叟ノ男加州ニ仕後豫州松山矦ニ仕

宝永九年五月十四日没ス

千宗安 泰叟ト号シ六閑斎ト祢ス常叟ノ男豫州松山ニ仕享保十一年八月廿八日没ス

千宗乾 竺叟ト号シ最斎ト祢ス泰叟ノ義子享保十八年三月二日早世

三代
千宗室 一燈ト号シ又玄斎ト祢シ又勿々軒梅舎堂ト号ス宗乾ノ義子与州ニ仕宝暦中没年五十三

千玄室 石翁ト号シ不見斎ト祢ス一燈男享和元年九月二十六日没年五十六

千宗室 柏叟ト号シ認得斎ト祢ス石翁ノ男文政九年七月廿四日没年五十七

千宗去 石翁ノ第二子次门ヲ起ス

千宗佐 石翁ノ第三子也 啜斎宗守ノ養子トナル

千宗室 臥白堂ト号ス

千宗守 一翁ト号シ官休庵ト称ス 似休斎宗旦季子 本腹讃及高松ニ仕フ 延宝三年十二月十九日没ス

二代 千宗守 文叔ト号ス 一翁ノ男 讃州ニ仕ス 宝永五年壬正月廿二日没ス

三代 千宗守 真伯ト号ス 文叔ノ男 静々斎ト称ス 讃及ニ仕エ 延享二年三月廿八日没ス

四代 千宗守 直斎ト号ス 又堅叟 真伯ノ義子 讃州ニ仕エ

五代 千宗守 啜斎ト号ス 直斎ノ義子 讃及ニ仕

六代 宗守 好々斎ト号 啜斎ノ義子 讃及ニ仕

千宗守 茶礼ヲ好ミ 紹鴎 利休ヲ召ス

信長公

秀吉公 茶礼ヲ好ミ千宗易ヲ召レテ茶礼ヲ定メシム 是ニ於テ茶礼大ニ備ル

古田織部正 諱重勝 印斎ト称ス 弟子多シ 系傳下ニ出ス

小堀遠江守 諱政一 宗甫ト号シ 門人多シ 系傳下ニ出タス

藪内紹智 剣仲ト号シ又藪中斎又燕庵 弟子多シ 系図下ニ出ス

織田有楽 諱ハ長益 源五 即ト称ス 信長公ノ舎弟ニテ 薙髪シテ有楽軒如菴ト号ス 元和七

年十月十三日卒ス年七十
建仁正傳院ニ葬ル

織田常真　一信ニ作ル諱ハ信雄信長公ノ二男寛永七年庚午四月晦日薨ス寿七十二和及宗多ト（ママ）源寺ニ葬ル

織田頼長　長益ノ二男祝髪シテ雲生寺入道ト号シ洛東ニ隠ル

織田貞置　左京亮信貞男茶法ヲ有楽ニ学ス寿八十九

土肥二三　参次岡崎ニ住ス名豊隆初メ孫兵ヱト称シ自在軒ト号牧野備前守ニ仕ヘ茶法ヲ織田貞置ニ学ヲ退隠シテ洛東岡崎村ニ住ス享保十七年正月六日没寿九十四

高橋玄旦　有楽茶道

織田長好　道八男慶安四年五月廿四日卒ス

織田信益　主計頭

織田自斉　周防守貞置男

藤掛寿本　讃岐家臣通称伊大夫信臣

松本見休　茶道

栗屋炒久　貞置門人

山田太郎左衛門　珍重庵ト号ス

斉藤長八郎雁繒

同　長八郎総摸　雨軒ト号ス

梶　与九郎正峯　聴霜軒ト号ス

吉田長三郎

太田下野守　片岡勘介

野田道意　水府公家臣知足庵政憲ト号ス

若代名溪 俗名七郎兵衛 吸来庵ト号ス
片岡信助 聴寿軒ト号ス 一号古明
細川三斎 諱忠興 幽斎ノ嫡男 正保二年乙酉十二月二日卒
浅野長重 釆女正長政三男 寛永壬申九月晦日卒ス
三輪大学―佐藤将監
中嶋宗古 茶屋朝露庵ト号ス
小尾伊織 江戸人―斎藤佐渡守
風早三位実種卿
稲葉駿河守 三斎―中井祐甫
佐葉三佐―荒井一堂
服部賀斎―三田五郎兵衛

松平刑ア大輔―辻忠兵衛
堀田河内守―小幡上総介
米津周防守 田賢―松本浄子
大久保与十郎―太田又八郎
稲葉河内守―稲葉主税
大久保淡路守
高木主永正―竹子三碩
南坊慶首坐 左海南宗寺ノ塔中 集雲院ノ名宗慶ト
南坊宗悴 四世―南坊宗元 五世
納屋宗雪
立花宗有 黒田家臣 通称五郎左エ門 実山ト号
大賀如心 自得庵慈溪ト号ス 通称善兵エ
衣斐宗拙 黒田家臣 義斎ト号ス 通称仙大夫

立花不白 通称太左エ門 黒田家臣実山ノ嫡虚谷斎ト号ス

笠原道桂 左衛門 黒田家臣止々斎ト号ス通称九郎

安藤若狭守定房 残雪庵ト号ス

同 治右エ門定敬 翼々菴ト号ス

三宅備後守源康高 参政 田原城主吟雪庵子閑ト号ス

安藤治右エ門定寿 二橋観ト号ス

平山忠左エ門直義 田原家臣北湖斎ト号ス

同 紋右衛門直貞 同上 一々斎ト号ス

東陽坊 京都真如堂

牧村兵部大輔 名利貞

山岡宗無 左海ニ住ス吉屋吉左エ門

山中道億 大坂人鴻池屋ト称ス元尚光ト号

佐久間宗透 従五位下甚九郎諱ハ正勝不干斎ト号ス初宗怡ヲ師トス又後紹鴎利休二居士ノ門ニ入ソノ長寿九コヲ知ヘシ

三好実休 諱ハ之虎 永禄五年三月五日泉州久米田ニ戦死ス

萬代屋宗安 左海人一咄斎ト号利休ノ女婿

同 与四郎 後宗貫ト改ム

荒木村重

木下勝俊 従四位下左近衛権少将若狭

ヲ領ス故アッテ洛東吴山ニ
退居ス祝髪シテ長嘯ト
名ク慶長元年
六月十五日卒ス

毛利輝元　右馬頭

蒲生氏郷　飛騨守文禄四
年乙未二月七
日卒年
四十

前田玄以　徳善院
ト号ス

羽淵与盤斎　豊臣家ニ仕ユ
初名与十郎

同　監物

釋　功叔　妙喜院ト号ス山崎
銭原宝寺ニ傳ニアリ

松永久秀

里村紹巴　法眼臨江斎ト号ス
慶長七年没

桑山重晴　修理亮剃髪宗栄
ト名慶長十三年十月
朔日
卒ス

今小路道三　京師ノ人翠竹庵
ト号ス渓翁又

友松子
ト称ス

日野輝資卿　慶長十一年五
月廿日薙髪シ
テ茶技ヲ
利休ニ学

曽呂利　杉本甚右衛門剃
髪シテ坂内宗拾ト
号シ沙
界ニ住

釈長盛　洛東真如堂東陽坊
僧慶長三年四月五日寂

山上宗二　沙界ノ山上ノ人
瓢庵ト号ス

有馬豊氏　玄蕃頭利休七哲ノ一ト
云寛永十九年卒ス

瀬田正忠　掃部頭ヨク茶ヲ好ミ大形
ヲ造リ掃部形ト云フ

芝山監物　大閤咄ノ衆

高山右近　南方ト号シ
加州ニ住ス

重宗甫　左京ノ久

道渓 ― 奈良崎弥左衛門

鐵屋道機 ― 八島久右衛門

甫竹左兵衛 ― 奥村喜兵衛

上林休徳 ― 山上宗仁

瀬川左馬 ― 糸屋宗有左兵衛

針屋宗実仝上 ― 小西如清仝上

茶屋四郎次郎　京

針屋宗春　京 ― 針屋宗和左兵衛

平野宗椿　河内之人 ― 富田知信左近将監

施薬院全宗　丹波氏江州人

富田信高 ― 針屋紹味左兵衛

針屋宗九　同上

古市左馬助

利休ノ七哲

織田有楽　蒲生飛騨

細川三斎　瀬田掃部

芝山監物　高山右近

荒木摂津　或ハ有楽ヲ除テ不干斎ヲ加フ又有楽不干ヲ除テ有馬玄蕃ヲ加フ

千宗旦

藤村庸軒　名ハ当直条庵ト徹翁ト号ス初久田氏俗祢十二屋源兵衛後藤村ト改ム元禄十二年己卯壬九月十七日没ス寿八十

藤村正員　蘭室ト号ス　庸軒ノ二男　大坂住

同　芳隆

同　正斎

観山 大坂人寥々斎ト号ス
釈廓山 只寧即心庵ト号ス
小野庸山 挂樹菴ト号ス
藤村如堅 — 藤村松軒
堅田祐庵 江戸堅田之人
北村道遂 — 比喜多弌仙
比喜多元達
斎藤道郎
山村退庵 江戸堅田之人
杉本普斎 吉太夫ト称シ一家ヲ為シ普斎流ト称ス
佐々木道蘇 — 清水柳渓
刈山宗拂

濱田黙斎 — 山田逸斎
山田董斎
山田宗徧 四方庵ト号シ京師ニ住シ後江府ニ遊フ自一家ヲ為ス宗徧流ト称ス
山田宗引
坂木周宗
山田宗田 江学ト号ス
山田宗也 漸学ト号ス
風早実種卿 — 鏡尼
三宅嘉斎 以半ト号ス慶安年中没ス寿七十泉州人
久須見疎庵 通称右衛門洛東岡崎村ニ隠居
僖主座
飯後庵 京師ノ人岸氏勘兵エト称ス

土斎　京師ノ人

宗徳　左海ノ人自在軒トモ号ス

山田宗伯　時習軒ト号ス

山田宗知　時習軒ト号ス

神谷松見　同上

千家衆

・江岑宗佐　宗旦ノ男

良休宗佐　江岑男　随流斎

原叟宗左　覚々斎芳流上六

安藤浄蔵　彦根ノ人名英重

久田宗全

久田宗也　宗全ノ男不及斎半床菴ト号

久田宗玄　尋比斎ト号

久田宗参　遠居閑斎ト号

久田宗悦　流滴斎

久田宗溪　花泉斎礎翁ト号ス

有岡道瑞　京師ノ人元禄中ノ人

尾形深省

尾形光珠

隠岐宗沕　沙東ノ人

天然宗左　原叟ノ男如心斎トモ号ス

堀内仙寉

堀内宗信

堀内宗心

三谷宗鎮　良朴ト号ス

三谷宗鎮　又米斎

三谷宗鎮 ― 三谷宗鎮
京師久楽只斎
松尾宗二 ト号ス
松尾宗五 宗仁ノ男 ― 橋本宗仙
松尾宗政 宗五ノ男
松尾宗浚 ― 松尾宗五
町田秋波
町田田斎 ― 町田章波
吉見嘉斎 山城宗治久
鈴木宗閑 京師ノ人
服部道円 ― 青木如水
溝口玄斎 ― 上野宗吟斎
吽翁宗左 天然ト号ス 男啐啄斎
孤峰不白 初メ川上宗雪ト称シ蓮花庵ト号ス
東都ニ住ス文化中没ス寿九十三
内本積甫 大坂
川上宗雪 不羨ト号シ水野公ニ仕ユ
多田宗菊 播州姫路ノ人大坂ニ住シ惣々斎ト号
多田宗拘 宗菊ノ嗣 十友斎ト号
無学和尚 名ハ宗衍 把不住ト号シ大徳寺ニ住ス
了々斎宗佐 吽翁ノ養子
稲垣休叟 大坂
千家東
・仙叟宗室 宗旦ノ三男 今日庵
常叟宗室 仙叟ノ男 不休斎
泰叟宗室 常叟ノ男 六閑斎
竺叟宗乾 泰叟ノ養子 実ハ原叟ノ子 最々斎

卜祢ス

一燈宗室　宗乾ノ養子実ハ弟也又玄斎ト祢

石翁玄室　一燈ノ男　不見斎ト祢

速水宗達　京師人

狩野宗朴　大坂ニ住ス

藤波季忠卿

堯州和尚　大徳寺

内田宗貞

那波宗洋

柏叟宗室

千宗玄　柏叟ノ弟

西村常陸

薩摩屋道舟

武者小路家

一翁宗守　宗旦ノ季子　宮休庵ト号

文叔宗守　一翁ノ男

真伯宗守　文叔ノ男静々斎ト号

直斎宗守　真伯ノ養子

安田是誰　京師ノ人冶工初對馬ト祢シ禅ヲ好ミ曽テ曹渓翁ニ参ス翁ノ寂後天竜寺桂州和尚ニ従テ窮乏沈々トス流ヲ以テ友トス

啜斎宗守　直斎ノ養子

木津宗全　大坂ニ住ス

好々斎宗守

古田織部正　織部流祖

台徳院殿

雲龍院御門主

道晃法親王

慈胤法親王

近衛家熙公

坊城俊将卿

鷹司輔信公

近衛信尋公

永井尚政

小堀政一　遠江守孤蓬庵宗甫ト号ス遠州茶流之祖ト為ル傳下ニ出

舩越吉勝　伊与守

上田重元

加々爪直澄

古田斉宮 ― 同斉宮

同斉宮 ― 青木左京

青木左京 ― 大久保内膳

本阿弥光悦

本阿弥光甫

山本道句

佐久間勝之

佐久間真勝

神尾若狭守　元珍入道紹元

糸尾荘三郎

伊達道作　清水宗真

清水道茂 ― 望月宗竹

多賀左近 ― 大久保忠隣

大久保藤十郎

毛利甲斐守秀元

山田玄瑞 ― 住吉本願

平野屋宗貞

藪内流
●剣仲紹智　藪内ノ氏ヨリ宗易ニ上足弟子
寛永四年丁卯五月七日
没ス寿八十七

三世
真翁紹智　剣仲ノ二世號
寛文四年乙未
正月六日没
寿七十

三世
剣翁紹智　真翁嫡男
延宝二月甲寅
十二月没
寿七十
紹拙　真翁ノ二男　南部ニ仕ユ
紹庵
紹春　真翁ノ三男　阿波ニ仕ユ
紹英
紹節
紹貞

四世
剣溪紹智　後宗億ト改ム　剣翁ノ嫡男　正徳二年壬辰九月七日
卒ス寿九十九
了智　剣翁二男覚然
号ス佐賀ニ
鍋島侯
宗也　二仕ス
宗也

五世
竹心紹智　剣溪ノ男　不住斎
而空ト号ス
島村紹億
島村紹億
島村紹億
神光紹和
岸紹易

六世
竹陰紹智　竹心ノ男　比老斎
ト号ス　寛政十二年七月三日
没ス
安冨常通
北尾春倫
松田忠兵衛
安威頼母
土岐元信
鈴木智庵
閑笠仙

七世
竹逸紹智　桂隠斎
文如上人　本願寺門主
●片桐貞昌　石州流祖　石見守茶法
東山宗仙ニ学

延宝九年癸丑十一月廿日卒
寿六十九石及茶流ノ祖ナリ
片桐貞房 貞昌ノ男主膳正ト称ス聴雨軒硯念ト号ス
稲葉丹後守
保科肥後守
厳有院殿大相國公
堯然法親王
怡溪和尚
朽木和泉守則綱
小泉兵庫 ― 木下伊賀守
石尾阿波守 ― 堀田肥後守
松平民部少輔 ― 南部遠江守
久志本式部 ― 布施孫九郎

伊佐幸琢 ― 井上久斎
伊佐幸琢 ― 伊佐幸琢
未央庵宗納
朽木大炊頭綱貞
山岡傳五郎 ― 近藤善蔵
真村閑右衛門
阿部能登守 ― 森川紀伊守
朽木伊予守鋪綱
槙田栄樹
半々庵幸琢門人 ― 小出伊勢守
六郷伊予守
丹羽左京大夫
半提庵幸琢

半寸庵圭琢門人
松平出羽守 不昧宗衲一〻ノ三号アリ
酒井日向守 ― 大西閑斎
大口恕斎 ― 細井一敬
鈴井九牧 ― 鈴木恕敬
大口如翁 ― 鈴木恕敬
清水道閑 ― 清水動閑
清水道渓 ― 同 道竿
同 道簡 ― 同 道斉
同 道啓 ― 同 道先

清水道竿門人
仙臺中将吉村
来山志ノ守

斎藤頼母 幸立斉ト号ス
同 頼母 立恵ト号ス

清水道閑門人
松平大学頭
仙谷治左衛門
谷村嘉順
藤林宗良 ― 藤林宗理
神野宗幽 ― 細井定橋
篠田松嶺 ― 鈴木定中
河野宗鴎 ― 本定宗敬
佐野紹益 ― 野本道元
紹貞
松浦肥前守 ― 野田酔翁

堀田駿河守紀正朝

酒井日向守忠純

宇佐美黙斎

内田近江守

長谷川主膳正

酒井玄番

原田平入 — 村上弥十郎

山田灌水 — 佐久間順斎

渡辺立庵 — 岡田道竹

西尾重兵衛 — 桜倉摂津守
　　　　　— 酒井下野守

伊東学而

加藤左近将監

堀丹後守

遠州流祖
小堀政一 遠江守 正保四年二月六日卒 寿六十九
紫野孤蓬庵ニ葬ル
遠州流ノ祖トナル

大猷院殿

小堀政俊 政一男

小堀政尹 政一ノ二男権十郎ト称ス 蓬雪ト号ス

小堀政貴 政一ノ三男

多賀常長 — 澤庵和尚

江月和尚 — 滝本坊昭乗

釈信海 — 村田一斎

朽木植昌 — 鷲見重三郎

上柳甫斎 — 縣宗知

土屋相模守 — 松平左衛門督

林道溪 — 竹林鷲庵

由中円斎 — 柳川宗固

清水玄昌

古筆了雪 — 狩野守信

伊丹屋宗不 — 佐川田昌俊

橋屋宗玄 — 黒田正玄

黒田正悦 — 黒田由悦

黒田正円

舟越吉勝 伊予守宗舟ト号ス寛文十年九月卒ス — 松平忠雄

加々爪甲斐守

神尾備前守

神尾若狭守

山田大有 — 青木宗鳳

青木宗鳳 — 青木宗鳳

大友漸斎 — 大友秋信

大友有斐 — 林義牧

勧修寺高顕卿

倉光日向守

大友禮三

○鋳冶略系

○七郎左衛門 北条義時ニ男ノ裔也 從五位下式部丞朝時五代

弥七郎 実同姓尾張守高家ノ子

弥五郎 — 弥七郎

弥七郎 — 薙髪シテ弥阿弥ト号ス 文明二年ニ始ス東山公ニ仕奉ル初メテ茶ノ湯釜ヲ鋳テ献ス依テ鋳物職ニ仰付ラル

弥七郎 大永六年死

弥七郎 天文四年死

弥七郎 信長公ニ仕奉 文禄二年死

弥五郎 天正八年死

弥七郎 薙髪浄祐ト号

慶長十一年死 弥七郎 正 薙髪善正ト号

元和五年死

名越 三昌 弥右エ門 薙髪シテ浄味ト号 善正ノ一男 五十二才
浄味ト称ス名人 寛永十五年死

昌高 弥右エ門 寛永十六年死

昌乗 弥右エ門 薙髪浄味ト号 宝永五年死

三典 弥右エ門 初名昌晴 薙髪ノ浄味ト号 世ニ三典浄味ト号ス 享保七年死

某 弥右エ門 享保十年死

昌光 弥右エ門 薙髪シテ浄味ト号ス 宝暦九年死ス

昌永 弥右エ門 天明四年死

昌典 弥右エ門 薙髪 浄味ト号

昌延 弥右エ門

実久 与四郎 一旦ト号ス 善正ノ二男 名人 慶長八年死
天正十四年京都大仏殿丈六ノ仏像ヲ鋳ル又豊国神前ノ燈籠ヲ寄附ス 宗易好ノ九ノ釜 阿弥陀堂尻張 雲竜 万代屋針屋ホノ釜及ヒ国師釜 百会 霰竜 庄山少庵好己釜

名越 家昌 弥五郎 随越ト号ス 善正三男 名人
慶長十九年四月十四日越中少掾ニ任ス 依台命御用相勤 年々江戸へ下ル 寛永年中大西村長孫堀浄甫ヲ召連江戸へ下リ其後寛永六年京都ニ於テ死ス

正信 弥五郎 上手 又家昌一同ク年々江戸へ下ル
寛永十七年ヨリ江戸住居 遠州公御好 蝉釜 イダ貝釜 石州公御好 雲竜 并 風呂 浮桶 写東形 富士形釜 不非風呂

貞享二年死

道正 弥五郎 上手 石州公時代
寛永五年死

昌美 弥五郎 上手 宗徧時代
延享三年死

昌道 弥五郎
宝暦十二年死

建福 弥五郎 雄變浄越ト号
文政二年死 土斉所持
山井釜写 不白好 菊銚子
本黒手炉

昌明 弥五郎 初名建明一釜斉
ト号ス 文政十年死ス

昌孝 初名推次郎
今始弥五郎

浄正 善正ノ男
早世ス

名越三昌

○門人略系

西村 道仁 名人ナリ 浄祐ノ門人又善正門人モ 九右衛門

大西 浄清 大西氏
五郎左エ門名村長 上手ナリ

寛永年中弥五郎家昌ニシタガヒテ江戸ニ来リ明暦二年家昌親ニヨッテ被召出天明二年京都ニ於テ死ス以後代々御用相勤江戸住居

浄久 上手 貞享二年死
光国ノ御好法華堂釜
一ッ造ル 遠州公御好小松葉
釜色紙釜 石州公御好俵釜
大小 夕貞釜 大嬉口切好銚汁釜

定林 上手 享保十二年死
宗徧好箕家ノ風呂釜
四方釜 カラケ 雲竜

浄林 上手 延享元年死

五郎左エ門 天明六年死

五兵衛 天明二年死

幸次郎 安永七年死

忠次郎 寛政十一年死

定之助 同七年死

重五郎—五郎左エ門

浄雲 清右エ門

浄光 清右エ門 京都ニ住ス
怨斉時代上手雀首

清右エ門

浄元 初佐兵エ 後清左エ門
上手 達广 紫野 丗花

浄雪 清右エ門 初三右衛門 後
クリロ平

佐兵衛 刷毛目釜

堀

山城 堀氏弥助浄甫ト号
弥五郎家昌ニヒメガヒ
江戸ニ下ル被召出
代々御用相勤ム

山城 号 弥助浄栄

弥助 号 浄琢ト 山城

山城 弥助

弥兵衛
正徳六年死

西村

九兵衛 西村氏名家久名人
道仁ノ子幼少ノトキ父
道仁死去ユヘ二代ニテ浄味ノ弟子
トナル宗旦時代上手 品方釜
裏数金 補團墨座
唐犬 土斎

道弥 初弥一郎 後弥三右エ門
名吉利 道仁ノ子 江岑
時代
上手

道治 初弥一郎 後弥右エ門
名孝知 道也ト号ス
後道治ト改ム 原叟時代上
手鳳凰風呂 百倍 以庵
巳
益

道爺 弥三右エ門名知義 如
心斎 時代上手
達广堂 富士墨座
口薄ルイサ

道爺 弥三右エ門 名了真
大坂住居

道爺 七左エ門
名某

道也 初七右エ門 後弥三右エ門
トアラタム

市兵衛

山城藤兵衛

●芦屋 筑前芦屋地名ナリ應永ノコロ珠光紹鴎ヘカヽル松竹梅霰九紋ホノ絵アリ應永ノコロヨリ永正頃ニテヲ古芦屋トイフ

芦屋鋳工ノ末同国博多ニ移居シ鋳ル所ヲ博多釜トイフ

越前ニテ竹芦屋ニ甚ヨク似タル釜出タリコレヲ越前芦屋トイフ

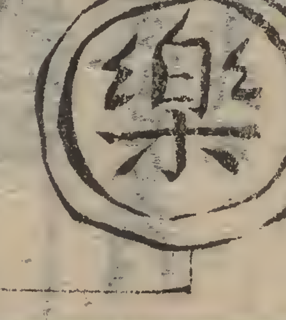
●天明 下野国佐野大田京天明地名ナリ又天猫トモイフ正長ノ頃ヨリ天文ノ頃迄ヲ古天明トイフ

○陶工略系 附楽印

元祖 ●宗慶 唐人宗慶ト云寛永二乙丑九月十九日死 八十二歳

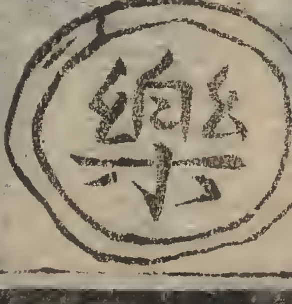
長祐 宗慶ノ男 田中長次郎

二代目 常慶 長次郎改 名吉左衛門 寛永十九乙亥五月五日死 年七十



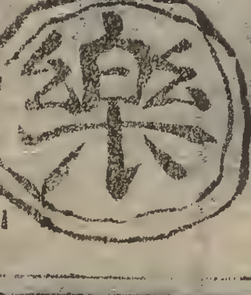
三代目 道入 吉兵衛ノコロウト云 明暦三丁酉二月二日死 時六十三





宗味 庄左衛門 堺ニ住ス

道楽 忠左衛門 左文字判アリ

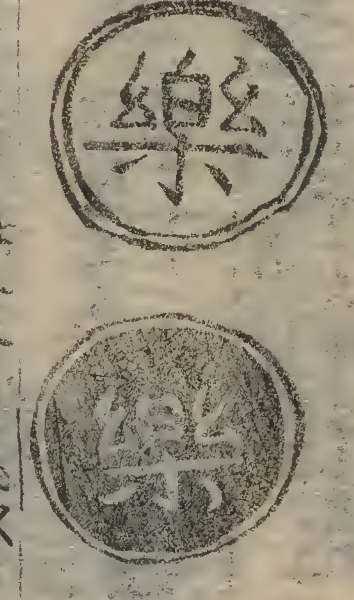


妙慶 常慶ノ妻ヲ尼焼トイフ



一元 一入二男佐兵衛 享保十六年辛亥死 別家トナルヨッテ脇釜ト云フ

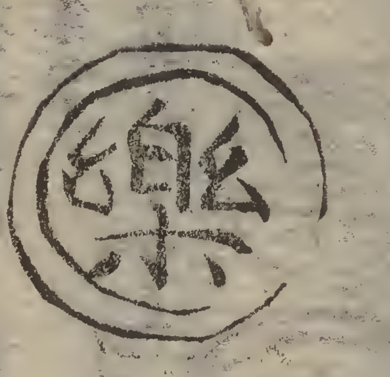
弥兵衛　一元男　任土斎ト云　寛延三庚午年死



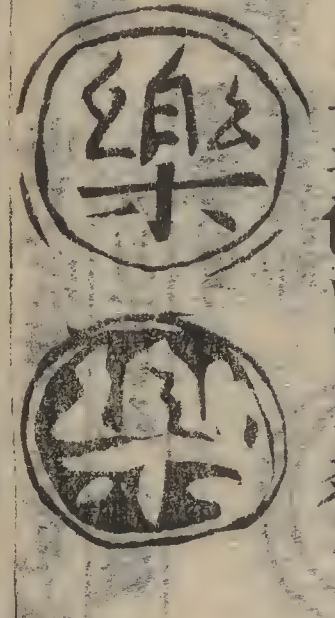
弥兵衛　任土斎男　至水　閑斎トイフ

甚兵衛　弥兵衛男　楽翁ト云

四代目
一入　道入男　佐兵エ改名吉左エ門　元禄九丙子年死



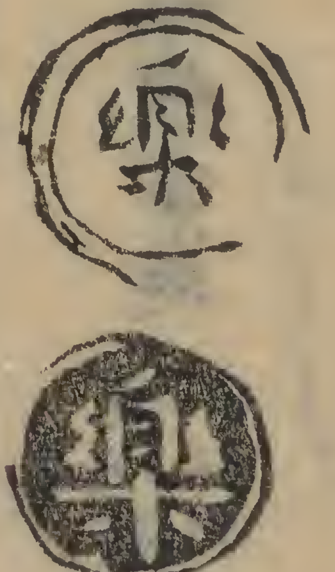
五代目
宗入　一入男　吉兵エ改吉左エ門　享保丙申年死ス



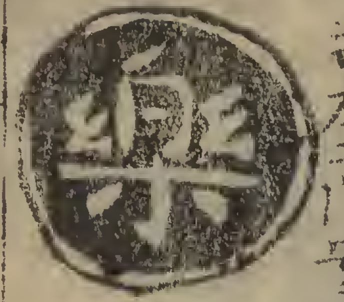
六代目
左入　宗入男　吉左エ門　元文四己午年死



七代目
長入　左入男　宗吉改吉左エ門　宝暦九己卯年死

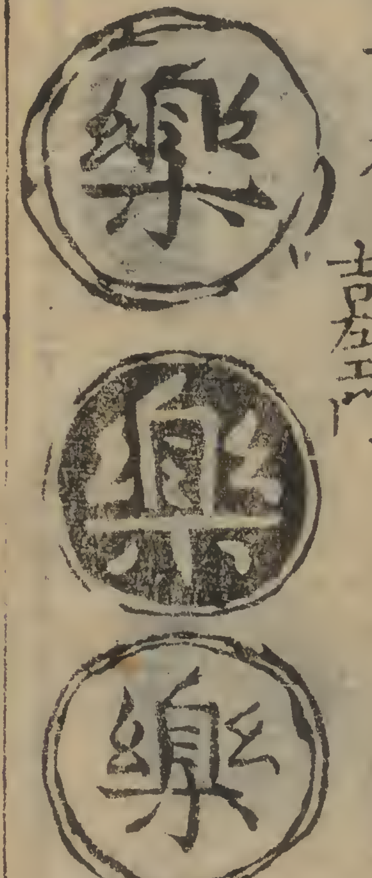


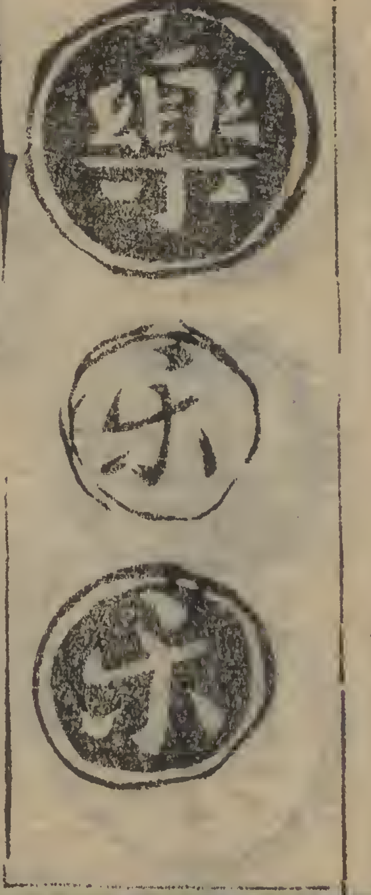
尼
妙脩　左入妻　妙脩焼ト云　明和八辛卯年死ス



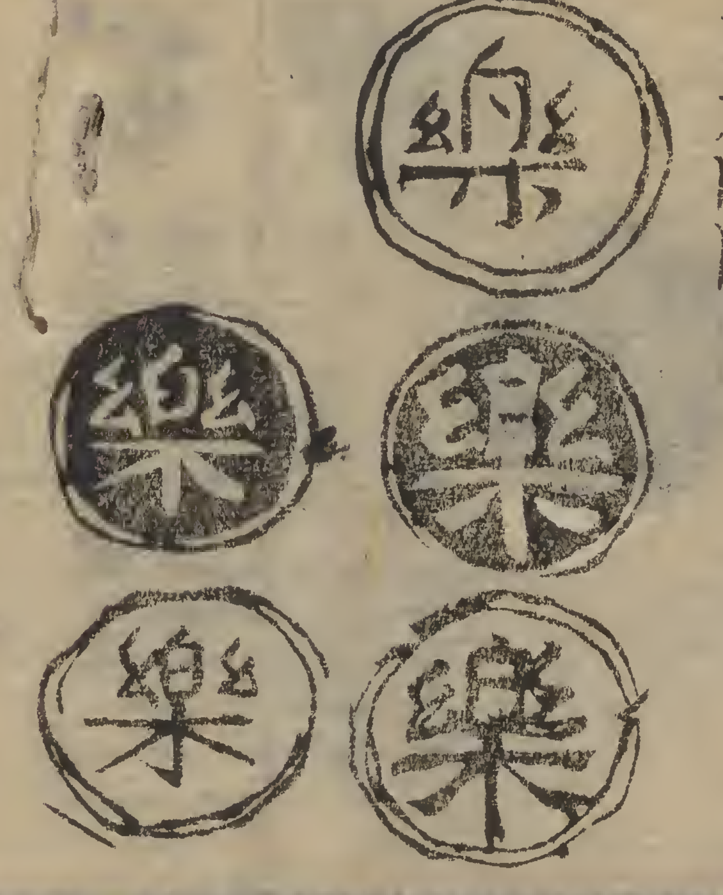
代目
得入　実長入二男　佐兵衛改名　吉右エ門　安永三甲午年死

九代目
了入　長入四男　吉左エ門





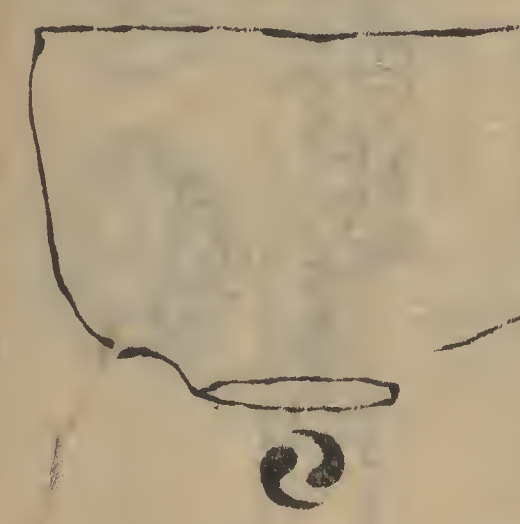
七代目
吉左衛門 ゟ入男



○七種茶碗

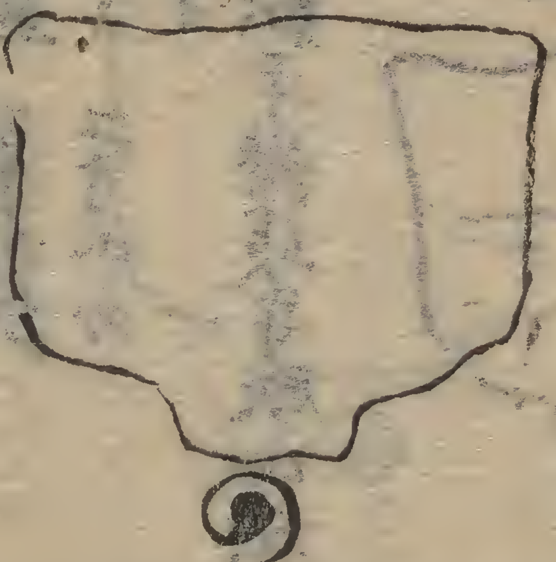
長次郎作
利休銘

撿挍
赤



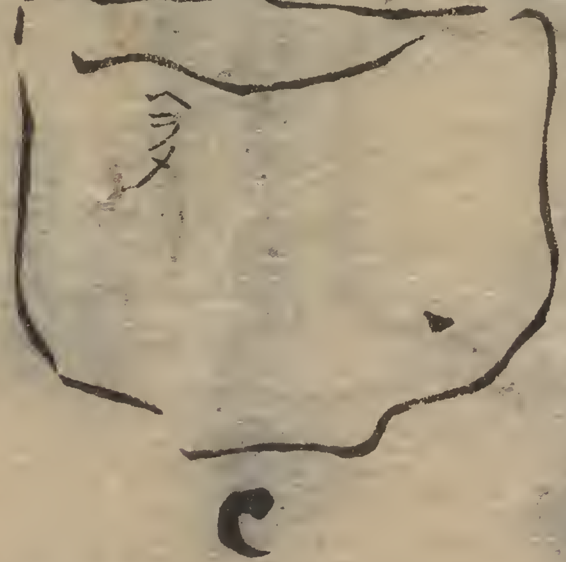
右京都
口差亘 四寸五分
高サ 二寸五分
高臺 一寸七分
内ニ目五ツアリ
河井十右衛門珍蔵

大黒
黒



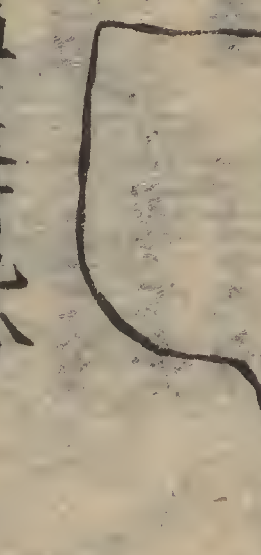
右浪花
口差亘 三寸七分
高サ 二寸七分
高臺 一寸六分
鴻池善右衛門珍蔵

早船
赤



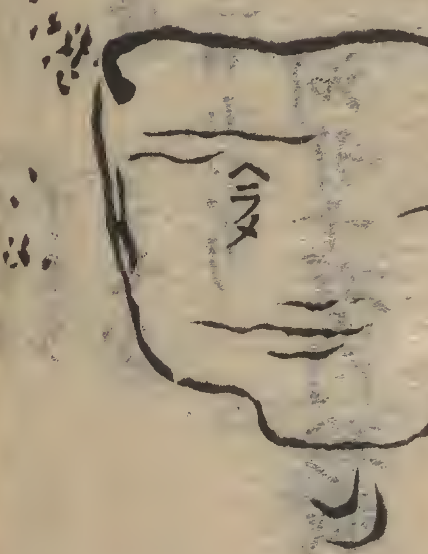
口サシ亘 三寸七分
高 二寸六分
高タイ 一寸六分
内ニ目五ツアリ
右京都 佐々木文右衛門珍蔵

木守 赤



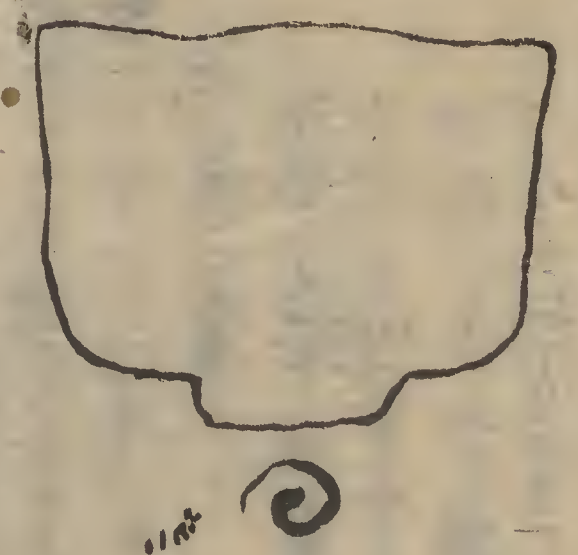
口サシ亘 三寸九分
高 二寸五分
高タイ
右 松平讃岐守殿御蔵

臨済 赤



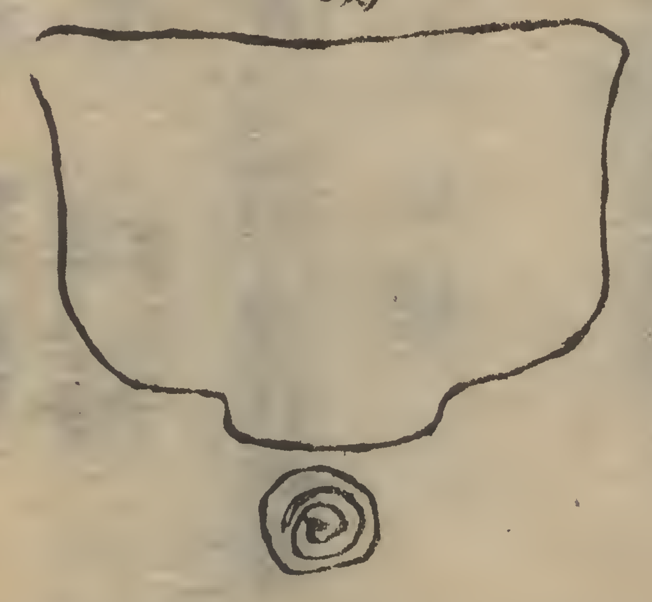
口サシ亘 四寸
高サ 二寸七分
高タイ 一寸七分
右 織田監物殿御蔵

鉢開 黒



口サシ亘 三寸八分
高サ 二寸五分
高タイ 一寸五分
右 細川越中守殿御蔵

東陽坊 黒



ロサレ亘　四寸分半
高　二寸八分
高ダイ　一寸六分
古浪華　鴻池道信珍蔵
以上七種

○諸国焼物出所

・行基焼　最初和泉国ヨリ焼キ初トイフ所々ヨリ出ス今世行基ヤキト称スレドモ猶上古ヨリアル陶器ニテ　皇朝焼物ノ初メ行基廻国ノトキ国々ヤキモノ出ルトコロヘ教ヘレモノニテ行基ヤキト云フナリ上古ノ器必賞スベシ

・瀬戸　伊勢尾張ノ間竃数个所アリ時代モ上中下アリ

・備前　印部ヤキトモ云アリ備前ナレトモ別ナリ云フトモ
古備前ヲ賞ス

・長門　金洗手　松本窯　深津窯ミナ長門ヤキ也
惣名萩なり

・肥前唐津　古唐津極古キモノニ　朱手小服絵唐津
土平ア等品々アリ

・今利　元祖五郎七五郎兵衛也肥前やきミ瀬ア書津・深付南エナリ惣テ肥前物土カタシ

・肥後　八代　高代　小代才

・筑前　高取

・筑後　柳川

・豊前　小倉　上野

・薩摩　茶入ニ古キアリ唐物ニ似タリ

・伊勢　安孫

・土佐　尾土焼元祖松柏　是ヲ松柏ヤキト云

・讃岐　稲荷山元祖何無衛初代仁清才子上手古利右衛トユテ賞ス　林田　浅野　冨田
屋高松
山本アリ

・摂津　高原ヤキ 難波ヤキヨリ古シ高麗ニ似タリ高岸ニテモ近比室ロヨリヘツナリ
・山城　清水御室ヤキ仁清トイス仁和寺村清右ヱ門トイフ者ナリ粟田 黒谷 押小路 未数ケ所アリ
・近江　信楽 伊賀ハ
　　膳所 瀬田
・丹波　立杭ヤキ いくめトモ云茶入古丹波ニテ名物
・遠江　志戸呂
・尾張　鳴海 志野 織部ヒノト
　ヨリヘハ焼村ナリ志野オ六志野ニテオリヘノ写ニタルナリ鳴海竃ニテモ・ハレノ・オリヘヲウツシタルアリ 尾及御庭焼ト云アリ名ヲ
・駿河　賎栈焼
・三河　常滑
・武蔵　萬古焼
・加賀　九谷

・奥州　相馬
・水戸　大田
・雲州　藤名元祖権兵衛萩高麗左ヱ門弟子楽山竃焼初同入作萩ノヤワニ三ヱ當社楽山竃ナシ式下ニテ焼
右何レモ瀬戸ノ外ハ国焼ト云

○風炉師
与九郎　天下一宗四郎
宗三郎　上田宗品
土井播广
宗　全　初名善五郎
　　　　代善五郎ト云
了　全　右同
　　　　京室町出水上ル

○外国陶器

・唐呉　茶入・銑州　何モフクリンアリ

・安南　无地ヲ下品トス　无地安南ト云

・高麗　繪高麗　王子手

御所丸　彩吹　雨漏

和手　蕎麦粕　井戸

大井戸　小井戸　青井戸

井戸脇　刷毛目　塚堀

無地刷毛目　熊川

堅手　鉢ノ手　御蔵堅手

半使堅手　金海堅手

滑堅手　二嶋　彫三島

礼賓三嶋　半司三島

花三嶋　雲鶴　茂木

狂言袴　鞆　朝鮮伊羅保

朝鮮三嶋　伊羅保

黄伊羅保　魚屋　金海

半司　御本雲雀

御本青磁　茂三　松竹梅

○天目

曜変　烏盞　玳皮盞

鼈盞　建山　禾

油滴　灰被　黄天目

樊天目　銑州　珠光

白天目　伯庵

・呉器

真呉器　遊撃呉器

紅葉呉器　大徳寺呉器

尼呉器　呞呉器

番匠呉器　桐呉器　半司呉器

・青磁

砧　天竜寺　盅手

朝鮮　裏白　北州

人形手　沉紋　飛青磁

呉須　珠光

・交趾香合

大亀　黄牛　鴨

龍　鳩　布袋

蛙　鯉　蟹

笠牛　銭亀　牡丹

連肉　松笠　玉遊獅子

福寿文字其外諸々交趾ト云アリ水指香炉鉢ノ類ナリ

・南京吉染付

大宗　彼手　亜六屋甚至
内瓜　七楓　与号鐙
撃牛　上ニ弟子　菱牛
象　金桶　烏
玉章　獅子　臺牛
同乱　火燃羊　扇
・祥瑞
瓢覃　蜜柑　横凡
竪凡　鶴　豆獅子
茄子　ルリ雀　豆男
桔梗　兜　橋
帛雉　雞　鵜　抗
抗　誰袖　笠
玉章
・呉須香合
同茂叔　松川菱　有馬筆
菊　蟹　木瓜
赤絵　楮
○漆工
善斉　篠井弥五郎秀次
大至良ニ住ス元祖紹
鴎ノ塗師ナリ世々五至云東トイフ

此以前ナツメハ取代トカリ名ヲ
善鏡　同二代姓ヲ梅路ト
改ム天下一与次秀
次ト云利
休時代
善紹　同二代秀次
織ア時代
林斉　同四代与次遠州
宗塗師洛陽四条
立売町ニ住ス此人代々ノ内
名人ノ名アリ右中次ヲ珍重ヘ
ス代々与次秀次ハ通称也
與斉　同五代秀次
長庵　同六代
遠州時代
高意　林斉
秀次
了智　二男
春慶　六左エ門
林斉三男
善斉弟子
寸切ヲ接テ金林寺　動作ノ
ノ名
出ス
中川藤重　秀次弟子
古織ア時代

盛阿弥　利休時代ヨリ三代同名アリ
記参　時代塗師紹鴎時代トモイフ
余参　同
寸法斎　宗長宗旦時代
中村宗哲　名公弼号芳子斎又号漆翁代々同名ヤ八郎兵衛宗哲ヨリ十家塗師トナル是延宝中ナリ
道意　道蘿将監
道恵　代々源助ト称ス
道志　石及遠及両家定塗師
道喜　同
道圓　同
桐村　紹鴎時代
羽田　同

遠坂　宇兵衛ト称ス藪内定塗師
一閑　並屋岸飛来ト云家名京出水油小路西ヘ入町

○蒔絵師

幸阿弥　清水
立水　道與
春矣　宗旦時代宝永頃

古物ハ南部芳野ノ製ナ云シ根来是ニ次鎌倉彫奥州塗甚多シ古物蒔絵ハ保元鎌倉東山赤天正頃モアリ真斉好三ノ名取川庸軒ノ廻也標有梅等世ニ賞スル所ナリ

○唐物漆器

張成　堆朱上々作時代千年余ト云

揚茂　右同
周明　右同合テ三作トス 張成揚茂二人作ト劣ル
王圓　上々作右ニ同シ 張成揚茂ニヨク似タリ
王質　右同
張源　上作
銭珍　同
呂甫　同　浅彫ナリ
黄成　細ニ面ニ彫ル
呂詠七官　根元上作右七作トリ合テ廿二 十作ト称ス
允泰　浅彫手際也
金馬　堆朱ノヤウニ塗上タル物ナリ木地ニ三ノ塗上タル ヲ木金馬ト云竜地モアリ但 堆朱ニモ木地竜アリ上品ハ

多クハ紙 地ナリ
堆朱　堆黒　堆黄　彩堆朱
珪章　八ケ形　紅花緑葉
存星　星存　塗存星　袖形
曲輪　此外箔繪竜紐アリ
青貝類　盃食籠至テ古物 アリ布袋ノ手ヲ作 品類多シ
七官渡遠州物ト云傳アリ
其外箔絵入モアリ

●木竹ニ
守徳　象牙又塗茶杓モアリ 東山時代
甫竹　茶匕茶柄杓師聚ニ在 利休時代
久以　遠州定職人木地モノ 焼印アリ
半入　利休時代

正玄 竹工 京室町今出川下ル町

梶川宗 石及時代

駒沢利斎 千家定職人 小川上立売上ル

一郎兵衛 武者小路定職人

重蔵 藪内定職人

天下一左近 代々千家 挽物師

●金物

金盛 釻

徳元 同

明珍 同

伊勢 同

中川浄益 諸金物 京烏丸通上立売下ル

金屋五郎三郎 同 京四条通冨小路西入

龍文堂安之助 同 京冨小路四条上ル

○袋物

袋物師友古 京押小路通御幸町西入

黒田正玄 京室町通今出川下

栗田元竹 京寺町通御池下

○香具

香具屋十右エ門　京下長者町通室町西入

○服紗

塩瀬浄弥　京烏丸三条上ル町

同九郎右エ門

木村三右エ門

○名物切

金襴　大燈　雞頭　逢坂

上柳　冨田　野田　二人静

来　畠山　雲山　長楽寺

筒井　花兎　作土　興福寺

木下　龍爪　中川　嵯峨桐

和田　あふ銭　大牡丹　小牡丹

金地　鳳凰　宝尽　鶴石畳

朱座　金春　大文菱　大内桐

観世　春綵　豆太鼓　釣太鼓

雲鶴　荒磯　伊予簾　権太夫

針屋　糸屋　紬地　常知

東山　銀蘭　藤言　寿金

蜀金　紗ゝ　焼切　角倉

鈎先　印金　竹屋町　高麗望金

毛織　継沙　東大寺　蟠龍

角龍 舟越 永観堂 松島
紹知 小牧 瓦燈籠 瓦灯口
細川 塩屋 本願寺 銀閣寺
米市 いちこ 祥雲 珠光庵
金剛 清水 千躰仙 浮留
此外数品アリ
安楽庵 大内桐 進藤 太友菱
大黒屋 牡丹 建仁 大蟠注
高野 荒磯 奈良切ホ盤アリ
大絖ニモ安楽庵ノ紋ヨタレ
緞子 白極 下妻 宗薫
藤 道玄 宗珠 正法寺
有楽 烏頭 山椒 本能寺

遠州 笹雀 劔光 三西屋
定家 紹鴎 宗悟 近羊
珠光 石字 四聖坊 住吉
輪違 鎌倉 芝山 荒磯
鈎先 龍爪 宗周
此外品類アリ
廣東 大字 弥三 弥右衛門
中尾 吉野 小松 鎌倉
日野 姫路 船越 御朱印
青木 利休 伊東 公左衛門
相良 望月 朝倉 小左衛門
狩場 葛城 音羽 薩广
此外数多シ

・裏切 上代カイキ 岳牡丹雲
カベチヨロ
・挽家袋 有栖川 いちこ
占城 紅毛縞 ベンガラ 奥縞

○茶杓

珠徳 ・宗瓦 羽淵 紹鴎
利休 織部 有楽 掃部 瀬田
三斎 慶首座 道安 少庵
宗旦 江岑 随流 原叟
如心 仙叟 常叟 泰叟
笠叟 一翁 文叔 真伯
直斎 啜斎 宗全 备
ノ貫 土斎 乗山 宗仙
石州 片桐 鎮信 松浦 佐久間 将監
遠州 小堀 蓬雪 小堀権十郎 舟越 伊豫
宗和 金森 貞置 庸軒 藤村
宗徧 山田 普斎 杉本
此外諸流作数多略之

・棚物

三重棚
江岑棚
高麗卓
桑小卓
一閑張 宗全好
桐 原叟好
桑 如心好
寄木 江岑好
桐 原叟好
仙叟好

紹鴎棚　紹鴎好

桑臺子　宗旦好

竹臺子　珠光好

爪紅　宗旦好

角棚　利休好

四方棚　同

丸卓　同

高麗臺子　一閑張　宗旦好

及臺子　唐物　利休所代ヨリ用之

袋棚　志野棚トモイフ香棚也　利休ヨリ用之

宗甫棚　宗甫好

冠棚　利休所持ヨリ用ユ

旅簞笥　利休好

竹柱四方棚　直斎好

小袋棚　又切棚トモイフ　同

半曹司　又短冊棚共イフ　宗和好

長板　黒塗　利休好

同　桐　白木　仙叟好

同　溜塗　宗全好

大板　利休好

小板　同

丸板　如心好

敷瓦　元来古瓦ヲ用ヒタルモノナリ

○花器

竹花生　作者茶杓ニ同

一重　利休好
二重　同
尺八　同
輪無二重　道安好
舩　宗旦好
[illegible]ら筒　仙叟好
履舩　宗全好
橋抗　凮早雅卿御好
杖　原叟好
素筒
置筒
稲塚
三重　勝手物也

置筒臺　宗旦好

・籠花生
蝉籠　如心好
宗全籠　宗全好
但籠花入ハ昔手籠ニ名器アリ唐物ナリ唐組和組釣漁ノ籠糸籠ホ古ヲ見立用之

・古銅花入
桃底　細口　ゾロリ
胡桃口　象耳　管耳
右ノ類等古物ヲ貴ス又砂張舩形花入ニ名物アリ経筒ニハ古物銘等アルモマヽアリ

・磁器花入
青磁置品類多シ

硯　聾　蕪ヌケ　中蕪
逆蕪　経筒　温壺　細口
釻耳　魚耳　かや壺
黄瀬古置　五五形 名物アリ
伊賀置　耳仲等 古物有
信楽掛　旅枕ろくまる 又置モアリ
備前　形種々置 胡ネアリ
伊部　同上
志野　同上
織部　同上
此外品類数多

○釜

阿弥陀堂　尻張　九釜
雲龍釜　国師　蒲團
鶴首　土肩　針屋
万代屋　四方釜　利休好ハ長ク 宗旦好ハ短ク
四方口釜　小ブリし
経釜　手附釜　累座
唐犬　霰巳　百佗
万字釜　千本松　夕顔
色紙釜　累座富士　大黒
小霰　大講堂　八卦
霰丸　日丸　霰百會
霰四角　乙御前　福菴
龍宝山　裏合　責紐

東陽坊　達磨堂　升釜
此外古物異形ノモノアリ

●釜蓋
スクイ　モリガタ
一文字　古鏡蓋

●七種蓋置
穂屋　栄螺　一閑人
五徳　三ッ葉　蟹
三ッ人形

●七種香合

呉洲　周茂叔　掛干ニヨリカヽリ蓮ヲ見ル図
祥瑞　瑠璃雀　銘無シ
同　蜜柑　呉祥瑞五郎大夫銘アリ
南京古染付　牛
同　屏風箱　秋草ニ馬ノモヨウ
祥瑞　凡　呉祥瑞五郎太甫銘アリ
同　瓢箪　コクレ　銘ナシ

○茶之十徳
一　諸佛加護
二　五臓調和
三　孝養父母
四　煩悩消除

五　壽命長遠
六　睡眠自除
七　息災延命
八　天神随心
九　諸天加護
十　臨終不乱

右銘ハ梅尾明恵上人釜ニ鋳付サセラル即自筆ナリ古筆家四人ノ添書アリ此釜栂ノ尾什物ナリシヲ利休之得テ蔵シタリシヲ松丸殿ノ御所望アリ後京極安知殿ヘ傳リ当時本多伊豫守殿御所蔵ナリ

○大福茶之事

紫野巨妙子所書大福之説曰六十二世村上天皇一時御惱医薬無験　天皇信敬六波羅寺観音薩埵乃得夢　天皇服御観音尊前所供之茶御惱平復皇乃王声于服茶故皇服之名始于此也自爾毎歳元旦王服観音供茶日本国中多例宜所喫之茶是称大服或曰大福大和讀王服其音偪王服大服大福三声即一也云々又或書曰

王服之事　每歳元三　茄例根元　普陀洛
山六波羅密寺ハ六道ノ西ニ有
真言宗ニシテ智積院ニ属ス
本尊十一面観音立像丈一尺
空也上人ノ作ナリ西国十七番礼
所又洛陽観音巡礼ノ其一ナリ傳云
人皇六十二代
村上天皇御宇天暦五年疫病
時行テ死スル者数ヲ知レス空也
上人是ヲ憐ミタマヒ十一面観音
ノ像ヲ作リテ車ニ乗セ洛中ヲ
自身牽アルキ玉フ是當寺本
尊ナリ観音ニ供スル点茶ヲ疫人
人ニアタヘタマヒ一同　平愈ス
村上天皇コレヲ聞シ召テ吉例
トシテ毎年元三ニ服シタマフ万民
モ今ニ此例ヲ行テ名ヲ王服ト号
年中ノ疫ヲ免ルヽナリ北方ハ尊
像地蔵尊ヲ安置ス云々
大福ノ説ヨシトイヘトモ其一二ヲ
コヽニ挙クルノミ

○茶師

・御用御茶頭取
上林又兵衛　同　門太郎
・御物御茶師
上林味卜　同　春松

同　平八　酒多宗有
長井貞甫　尾崎旨菴
星野宗以　上林三八
堀　真朔　長茶宗味
辻　善德
右十人

・御袋茶師
上林半加　長井仙斎
祝井甚兵衛　八嶋浄庵
上林道庵　堀　正法
竹田紹且　木村宗二
佐野道意
右九人

・御通茶師
片山道二　宮村推大
西村了以　竹田紹清
河村宗順　馬場宗圓
河崎德意　橋本玄可
森本道加　喜多立玄
喜多彦八　長茶佐京
松原宗右衛門　菱木宗見
満田宗恵　德田源六
吉田喜右衛門　竹多道雲
平尾喜右衛門　宮林有斎
中村弥右衛門　梅村宗雪
小山勝右衛門　菱江宗左衛門

上林伊左衛門　永田宅郎左衛門
矢嶋新左衛門　舟川彦兵衛
喜多川太郎左衛門　藤林金兵衛

右三十八人

都三千家茶師

茶家酔古襍第一帙　終

茶家酔古襍初集二集合三
篇目成テ茶人ノ系圖花押ヲ
始メ名物茶入名物切茶具圖説
價録ニ至ルマテ茶道具鑒定
ノ要悉ク全備ス尚四集目ニ
ハ古画ノ圖説古錢ノ圖古今ノ
鍛冶名寄并ニ新古刀劍ノ
圖等總テ小道具目利ノ專
要トナルベキ事ヲ漏サズ輯録
シテ鍛冶鑒定便覧ト名附テ
近ク貢出シ候

天保甲辰秋日

京寺町通六角下ル
書房　近江屋佐太郎